平成30年度　第4回

第39回「関東地区会」定例研修会の記録

主　催：日本人間関係学会　関東地区会

実施日：平成30年11月10日（土）14時～17時

会　場：**越谷市サンシティホール　第１小会議室**

担 当：岡田　昌子・佐藤　啓子

記　録 : 白石京子

**本年度テーマ：「分断・孤立からの関係創生」**

**－関わりをつなぐ可能性を見出す－**

**「ﾋｭｰﾏﾝﾘﾚｰｼｮﾝ･ｽｷﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ(Human Relation Skills Training)＝HRST」**

**本会の小テーマ**

**「人間関係の諸課題への新たなアプローチを創生する」**

**――『かるた』に託す人間関係　――**

資格研修（更新）講座（選択講座Ｂ‐1）

**＜趣旨＞**

日常の身近な家族や地域、職場などにおける人間関係の諸課題について、参加者と共に広くディスカッションし、個々人直面している人間関係の問題について考える。その中で、様々な困難や分断・孤立などの問題を解決するために、人間関係士としてより良い人間関係を形成するための問題の捉え方や基本的な態度、人間性の育ちに繋がる新たなアプローチを創生する。具体的には、人間関係の原理原則に繋げた基本概念を短文（短歌・かるた）に集約してまとめ、人間関係士の指標となるようなものを創造する。

**＜展開＞**

**Ⅰ部　(14:00～14:20)　 テーマの趣旨説明と活動内容について**

**（話題提供者：岡田昌子)**

趣旨：人間関係学会はどのようなことを学習・研究するのか、疑問や興味・感心を持つ人は多い。関東地区会においては年間テーマを掲げ様々な人間関係のより良い創造に向けて探求してきており、今回で39回目となり、今年度のテーマは「分断・孤立からの関係創生―関わりをつなぐ可能性を見出す―」であり、小テーマとしては「人間関係諸

課題への新たなアプローチを創生する」**―『かるた』に託す人間関係　―**とした。

そこで、人間関係士資格を取得する人々にとっても、人間関係士資格をPRする上でも、理解し易いアプローチとしての人間関係を考える方法として、今回は人間関係とは何か、人間関係士とは何か、人間関係力とは何かなどについて、分かり易く理解するために、我々が人間関係学関連の研究、研鑽を積んできたノウハウを、短文に集約してまとめるものとする。

**Ⅱ部　(14:20～15:20)　参加者と共に人間関係の諸課題についてフリートーク**

**(進行：岡田昌子・佐藤啓子)**

１、基礎理論：配布資料「求められる人間関係力」（人間関係学会ニュース第94号参照）に基づき、概略説明：佐藤顧問

２、配布資料「傾聴かるた」を紹介（全員でリレー式に読み合せる）：小林委員

３、「人間関係・人間関係力について」参加者全員でフリートーク―内容（略）―

**Ⅲ部　(15:30～16:50)　人間関係「かるた」の創生**

１、参加者それぞれに小用紙を配付し、人間関係士・人間関係力について、上記３の視点から、かるた式に記述してもらう

２、各人が書いたものを発表しながら机上に並べる。

３、並べられたものを、項目別に分類する。

　　（今回、挨拶・コミュニケーション・共感・情緒・生きがいや生き方・学習・集団等が示された。）

**Ⅲ部　シェアリング・まとめ**

・頭を使って、人間関係力のどこにターゲットを絞るか、どこを対象とするか、目的の明確化が必要だ。

・当たり前の日常生活の体験から、より良い人間形成を深めるものにしたい。

・共存している社会の人間関係を大切にする、真髄の人間関係力を表現したい。体験を自覚する学習にしたい。

・頭を使って疲れたが、時間内に、これだけたくさんのかるた例が出て来るとは、集団の見事な想像力・創造力に、驚きと感嘆の連続であった。

・日々是好日　日常の有難さ、同じことができる幸せを実感した。

・豊かな人間関係力を形成には、改めて日々の笑顔、挨拶が大切だと思った。

・語ることによって関係が深まる。また、集団の力の凄さを感じた。

・日々の生活も継続は力なり、当たり前の生活体験が焦点化できて、より良い人間形成の一歩を深めるきっかけになった。

・人生は感動体験が大事ですね。できることをコツコツと積み上げていこうと思った。

・皆の力作に驚いた。言葉・中身等、すべてが素晴らしかった。実りある時間であった。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上